

ホームレスの実態に関する 全国調査報告書

平成15年3月

目 次

第1部 調査の概要

- 第1節 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 第2節 調査方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 第3節 調査期間及び調査対象地域・・・・・・・・・・ 5

第2部 ホームレスの数の調査結果・・・・・・・・・・ 6

第3部 生活実態調査結果

- 第1章 調査対象者の基本的属性・・・・・・・・・・ 12
- 第2章 路上での生活について・・・・・・・・・・ 13
- 第3章 路上（野宿）生活までのいきさつ・・・・・・・・ 20
- 第4章 健康状態と福祉制度・・・・・・・・・・ 26
- 第5章 自立について・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
- 第6章 生活歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
- 第7章 要望・相談・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

参考資料

- 資料 ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法・・・・・・・・ 47
- 資料 調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51

第1部 調査の概要

第1節 調査の目的

ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法（平成14年法律第105号）第14条の規定により、国は、ホームレスの自立の支援等に関する施策の策定及び実施に資するため、地方公共団体の協力を得てホームレスの実態に関する全国調査を行うとともに、同法第8条第1項の規定により、この全国調査を踏まえ、ホームレスの自立の支援等に関する基本方針を策定するものとされていることから、ホームレスの実態に関して全国調査を行うものである。

第2節 調査方法

1 調査客体

ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法第2条に規定する「ホームレス」＝「都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を故なく起居の場所として日常生活を営んでいる者」とした。

2 調査方法

国が各都道府県に対し調査を委託し、各都道府県の管内市区町村が調査を実施した。

（1）ホームレス数の調査について

- ・ 調査の方法は、全国の市区町村において、巡回による目視による調査とした。
- ・ 市区町村は、調査地域を各ブロック毎に区分けし、ブロック毎にカウンター機器等を使用して、人数を調査した。
- ・ 数の集計は、「都市公園」「河川」「道路」「駅舎」「その他施設」の5区分及び男女別（男・女・不明）とし、それぞれの人数をカウントした。
- ・ 調査期間は、原則として1日で行うこととし、対象地域が広い等やむを得ない場合は、複数日（2～5日間程度）において実施することも可能とした。
- ・ 調査の時刻は、原則として昼間行うこととし、異動者を把握するために夜間の調査がよい場合は、夜間も可能とした。

(2) ホームレスの生活実態調査について

- ・ 調査の方法は調査票に基づく個別面接調査とした。
- ・ 調査対象自治体は、東京23区・政令指定都市及び平成13年9月末現在で地方公共団体が把握している直近の数を取りまとめた調査（以下「平成13年9月調査」という）結果において100名以上のホームレス数の報告があった市とし、調査対象目標数は、別表の通りとした。
- ・ 各市区は、調査地域を各ブロック毎に区分けし、ブロック毎に調査日を定めて個別面接調査を実施した。
- ・ 調査前に、調査日前10日間程度を使用し、ブロック内のホームレスに対し、調査の実施について周知し、協力を求めるとともに、できる限りホームレスとのコミュニケーションを図っておくこととした。
- ・ 調査期間は、20日間程度とした。
- ・ 調査場所は、公園、河川など居住場所を基点として行った。
- ・ 調査時刻は、原則として夕方までには調査を完了するが、相手方の了解が得られれば夜間調査も可能とした。
- ・ 調査の調査客体が定住型のホームレスに偏らないよう、移動型のホームレスについても十分配慮することとした。

なお、定住型とは、テント・小屋がけ等固定的な住みかをもっている者とし、移動型とは、それ以外の者とする。

3 集計方法

集計方法は、管内市区町村が実施した調査結果を各都道府県がとりまとめ、国に報告された調査結果を国が一括集計した。

(別表)

東京23区及び政令指定都市等のホームレス数及び調査目標数

市 区 名	H 1 3 年 9 月 末 数	調 査 目 標 数
	A	B
東 京 2 3 区	5,600人	400人
大 阪 市	8,600人	500人
名 古 屋 市	1,318人	180人
川 崎 市	901人	180人
横 浜 市	602人	100人
京 都 市	492人	80人
神 戸 市	341人	60人
福 岡 市	341人	60人
広 島 市	207人	40人
北 九 州 市	197人	40人
仙 台 市	131人	30人
千 葉 市	123人	20人
札 幌 市	68人	20人
堺 市	215人	40人
豊 橋 市	177人	40人
さいたま市	170人	40人
浜 松 市	150人	40人
市 川 市	141人	30人
松 山 市	114人	20人
厚 木 市	112人	20人
尼 崎 市	110人	20人
八 尾 市	103人	20人
船 橋 市	100人	20人
計	20,313人 (84.3%)	2,000人
全 国 計	24,090人 (100.0%)	2,000人

第3節 調査時期および調査対象地域

1 調査時期

平成15年1月～2月に実施

2 調査対象地域

(1) ホームレス数の調査

全国すべての市区町村において実施

(2) 生活実態調査

東京23区・政令指定利雄予備平成13年調査の結果において100名以上のホームレス数の報告があった市において実施

第2部 ホームレスの数の調査結果

1 過去の調査

全国におけるホームレスの人数を把握するため、厚生労働省(旧厚生省を含む。以下同じ。)では、ホームレスの数の調査のとりまとめを、これまで3回行っている。1回目は、平成11年3月に東京都23区、指定都市、中核市、県庁所在地の比較的ホームレスが多く存在すると思われる77の市区を対象に実施した。2回目は平成11年10月に、3回目を平成13年9月にそれぞれ全国を対象に実施している。

しかしながら、これらの調査は各自治体が把握している人数を厚生労働省に報告・集計したものであって、調査方法、調査時期は各自治体によって異なっていた。また、2回目、3回目の調査は、全国の都道府県に調査依頼を行ったが、すべての全国の市区町村から報告があったものではなく、報告があった市区町村数もそれぞれ異なっていた。

なお、これまでの調査結果は、

平成11年 3月調査 16,247人(報告のあった自治体数 77市区)

平成11年10月調査 20,451人(同 132市区町)

平成13年 9月調査 24,090人(同 420市区町村)

となっている。

2 今回の調査

今回の調査はこれまでと異なり、統一した調査方法により同時期に3,242の全戸にすべての市区町村において調査が行われたことから、我が国初めてのホームレスのかずに関する全国踏査となるものである。集計結果は瀬井部t(男・女・その他)調査場所(都市公園、河川、道路、駅舎、その他の施設に分類して行った。

調査の結果、ホームレスが確認できた自治体数は581市区町村で、その人数は、25,296人(表1)となっている。前述したように、平成13年9月調査はすべての市区町村から報告があったものではなく、すべての市区町村を調査対象とした今回の調査とは一概に比較できないが、あえて平成13年9月調査と比較すると1,206人の増となっている。性別の調査も行ったが、目視による調査のため防寒具を着込んだ状態等により性別が確認できず、ふめいの者が3,886人となっているが、男性が20,661人、女性も749人が確認されている。

表 1 全国のホームレスの数

	男	女	不明	合計	平成 13 年	平成 13 年	
					調査の人数	調査の人数	増
全 国	20,661	749	3,886	25,296	24,090		1,206
%	81.7	3.0	15.4	100.0			

都道府県別（表 1-2）に見ると、7,754 人で大阪府が最も多く、次いで東京都が 6,361 人となっている。平成 13 年 9 月調査で 0 人の報告であった島根県も 4 人が確認され、すべての都道府県でホームレスが確認された。

指定都市別（表 1-3）では、12,238 人、中核市別（表 1-4）では約 1,476 人が確認された。

表 1-2 都道府県別のホームレスの数

都道府県 名	男	女	不明	合計	平成 13 年	平成 13 年	
					調査の人数	調査の人数	増
北海道	112	7	23	142	80		62
青森県	16	0	0	16	3		13
岩手県	16	2	0	18	6		12
宮城県	208	11	3	222	144		78
秋田県	13	0	0	13	7		6
山形県	20	3	1	24	8		16
福島県	39	0	4	43	15		28
茨城県	115	12	3	130	73		57
栃木県	126	5	3	134	120		14
群馬県	81	3	3	87	75		12
埼玉県	735	25	69	829	627		202
千葉県	610	25	33	668	594		74
東京都	6,174	187	0	6361	5,712		649
神奈川県	1,782	37	109	1,928	2,032		104
新潟県	70	4	0	74	64		10
富山県	22	1	1	24	1		23
石川県	22	0	0	22	56		34
福井県	24	0	0	24	10		14

山梨県	46	0	5	51	28	23
長野県	35	1	1	37	34	3
岐阜県	59	5	22	86	28	58
静岡県	393	33	39	465	369	96
愛知県	1,984	78	59	2,121	1,714	407
三重県	39	7	0	46	34	12
滋賀県	57	0	0	57	20	37
京都府	580	20	60	660	510	150
大阪府	4,565	104	3,088	7,754	9,462	1,705
兵庫県	716	34	197	947	678	269
奈良県	14	0	0	14	4	10
和歌山県	80	9	1	90	51	39
鳥取県	12	1	0	13	11	2
島根県	4	0	0	4	0	4
岡山県	58	3	4	65	22	43
広島県	221	10	0	231	271	40
山口県	30	2	1	33	12	21
徳島県	14	0	0	14	1	13
香川県	42	4	0	46	95	49
愛媛県	36	5	44	85	114	29
高知県	22	1	0	23	3	20
福岡県	1,024	81	82	1,184	670	517
佐賀県	38	3	0	41	23	18
長崎県	41	0	0	41	34	7
熊本県	115	9	0	124	36	88
大分県	34	5	0	39	24	15
宮崎県	16	2	4	22	29	7
鹿児島県	71	3	6	80	64	16
沖縄県	130	749	3,886	25,296	24,040	36
合計	20,661	749	3,886	25,296	24,090	1,206

表 1-3 指定都市別のホームレスの数

都市名名	男	女	不明	合計	平成13年	平成13年
					調査の人数	調査の人数
					増	減
札幌市	63	2	23	88	68	20
仙台市	193	10	0	203	131	72
千葉市	124	2	0	126	123	3
横浜市	460	10	0	470	602	132
川崎市	822	7	0	829	901	72
名古屋市	1,697	56	35	1,788	1,318	470
京都市	545	20	59	624	492	132
大阪市	3,623	68	2,912	6,603	8,660	2,057
神戸市	274	8	41	323	341	18
広島市	152	4	0	156	207	51
北九州市	349	21	51	421	197	224
福岡市	525	52	30	607	341	266
合 計	8,827	260	3,151	12,238	13,381	1,143

表 1-4 中核市別のホームレスの数

都市名名	男	女	不明	合計	平成13年	平成13年
					調査の人数	調査の人数
					増	減
旭川市	20	1	0		-	
秋田市	11	0	0	11	6	5
郡山市	8	0	0	8	7	1
いわき市	5	0	0	5	2	3
宇都宮市	63	3	0	66	79	13
横須賀市	26	2	16	44	-	-
新潟市	50	2	0	52	35	17
富山市	17	1	1	19	-	-
金沢市	22	0	0	22	46	24
長野市	17	0	1	18	20	2
岐阜市	22	2	20	44	-	-
静岡市	105	12	2	119	70	49
浜松市	122	3	4	129	150	21

豊橋市	48	6	4	58	177	119
豊田市	11	1	0	12	11	1
堺市	231	3	46	280	215	65
姫路市	55	2	0	57	53	4
奈良市	7	0	0	7	-	-
和歌山市	65	9	1	75	46	29
岡山市	32	3	3	38	22	16
倉敷市	14	0	1	15	-	-
福山市	48	3	0	51	54	3
高松市	20	2	0	22	72	50
松山市	26	4	43	73	114	41
高知市	21	1	0	22	3	19
長崎市	14	0	0	14	13	1
熊本市	95	8	0	103	29	74
大分市	10	2	0	12	18	6
宮崎市	11	0	4	15	24	9
鹿児島市	55	3	6	64	51	13
合 計	1,251	73	152	1,476	1,317	159

従来からホームレスの人数の多い、いわゆる5大都市（東京都23区、横浜市、川崎市、名古屋市、大阪市）では、合計15,617人（表1-5）で全国数の61.7%を占めているが、これは平成13年9月調査に比べ9.2%の減となっている。

表 1-5 主な都市の人数

都市名	人数	全国数に 対する割合	平成 1 3 年 調査の人数	平成 1 3 年 調査の人数	
				増	減
東京都 2 3 区	5,927	23.4%	5,600		327
横浜市	470	1.9%	602		132
川崎市	829	3.3%	901		72
名古屋市	1,788	7.1%	1,318		470
大阪市	6,603	26.1%	8,660		2057
合計	15,617	61.7%	17,081		1,464

調査地域別（表 2）では、都市公園が 10,310 人で 40.8%を占めており、次いで河川 5,906 人（23.3%）、道路（4,360 人）、その他施設 3,466 人（13.7%）、駅舎 1,254 人（5.0%）の順となっている。

表 2 調査地域別の状況

	都市公園	河川	道路	駅舎	その他施設	合計
男	8,082	5,182	3,127	1,165	3,105	20,661
女	325	151	102	62	109	749
不明	1,903	573	1,131	27	252	3,886
合計	10,310	5,906	4,360	1,254	3,466	25,296
%	40.8	23.3	17.2	5.0	13.7	100.0

第3部 生活実態調査結果

生活実態調査においては、調査目標数のところ、2,163人から回答を得られた。

第1章 調査対象者の基本的属性

本章では、生活実態調査対象ホームレスの基本的属性を「性別」、「年齢」で表した。

1 性別

性別は、有効回答総数 2,115 人のうち、男性 2,014 人（95.2%）、女性 101 人（4.8%）で

表1 性別

	人数	%	有効%
男性	2,014	93.1	95.2
女性	101	4.7	4.8
有効回答数	2,115	97.8	100.0
無回答	48	2.2	
合計	2,163	100.0	

2 年齢

年齢分布は、表2に見られるような結果となった最も多かったのが「55～59歳」504人（23.4%）であった。次いで「50～54歳」473人（22.0%）、「60～64歳」437人（20.3%）であった。「50～64歳」が全体の65.7%を占めている。

ホームレスの平均年齢は、55.9歳であった。

表2 年齢分布（5歳ごと）

	人	%	有効%
19歳以下	0	0.0	0.0
20～24歳	3	0.1	0.1
25～29歳	10	0.5	0.5
30～34歳	28	1.3	1.3
35～39歳	56	2.6	2.6
40～44歳	103	4.8	4.8
45～49歳	214	9.9	9.9
50～54歳	473	21.9	22.0
55～59歳	504	23.3	23.4
60～64歳	437	20.2	20.3
65～69歳	225	10.4	10.5
70～74歳	75	3.5	3.5
75～79歳	20	0.9	0.9
80歳以上	4	0.2	0.2
有効回答数	2,152	99.5	100.0
無回答	11	0.5	
合計	2,163	100.0	

第2章 路上での生活について

1 路上（野宿）生活の形態

野宿場所については表1でみるように、「一定の場所に決まっている」が、1,819人（84.1%）、「一定の場所に決まっていない」が267人（12.3%）となっている。これは調査対象が定住型を中心に、彼らの生活拠点の近辺で調査が行われた影響であると考えられる。

なお、「一定の場所に決まっている」者の具体的な場所として、一番多いのが、公園890人（48.9%）となっており、全国のホームレスの数の調査の結果とほぼ同様の数値となっている。

表1 問1 現在の寝（野宿）場所はどこですか。

		人	%	有効%
決まっている	公園	890	41.1	48.9
	道路	229	10.6	12.6
	河川敷	319	14.7	17.5
	駅舎	136	6.3	7.5
	その他	245	11.3	13.5
有効回答数		1,819	84.1	100.0
決まっていない		267	12.3	
無回答		77	3.6	
合計		2,163	100.0	

いまの場所を寝（野宿）場所とした期間については、表2のように、多い順位に「1～3年未満」の回答者が587人（31.1%）、「3～5年未満」の回答者が335人（17.8%）となっている。また、この表では、3年未満の者が1,288人（68.2%）と全体の7割近くになっている。

表2 問2 今の寝（野宿）場所とするようになってどのくらいたちますか。

	人	%	有効%
1ヶ月未満	108	5.0	5.7
1ヶ月～3ヶ月未満	145	6.7	7.7
3ヶ月～6ヶ月未満	195	9.0	10.3
6ヶ月～1年未満	253	11.7	13.4
1～3年未満	587	27.1	31.1
3～5年未満	335	15.5	17.8
5年以上	262	12.1	13.9
有効回答数	1,885	87.1	100.0
無回答	8	0.4	
非該当	270	12.5	
合計	2,163	100.0	

野宿形態については、表 3 でみるように、「テント又は小屋を常設」が 1,109 人（54.4%）となっており、全体の半数近くにのぼる。

表 3 問 3 どのようにして寝（野宿）場所を作っていますか。

	人	%	有効%
廃材やダンボール、ブルーシートによるテント 又は小屋を常設	1,109	51.3	54.4
ダンボール等を利用して寝場所をつくっている	472	21.8	23.2
簡単に敷物（寝袋・毛布等）を敷いて寝ている	254	11.7	12.5
寝場所は特につくらない	91	4.2	4.5
その他	111	5.1	5.4
有効回答数	2,037	94.2	100.0
無回答	126	5.8	
合計	2,163	100.0	

2 食生活の状況

食事の回数については、表 4 でみると、「1日2回」が 995 人（46.2%）と最も多く、次いで「1日3回」が 622 人（28.9%）であった。一方、「1日1回」が 364 人（16.9%）おり、食事確保が困難であることを表している。

表 4 問 4 食事は1日どのくらい摂れていますか。
最近一週間の状況を教えてください。

	人	%	有効%
1日1回	364	16.8	16.9
1日2回	995	46.0	46.2
1日3回	622	28.8	28.9
その他	173	8.0	8.0
有効回答数	2,154	99.6	100.0
無回答	9	0.4	
合計	2,163	100.0	

3 路上（野宿）生活の期間

表5では初めて路上（野宿）生活をしてからの期間を表している。「5年未満」の者が一番多く、1,356人（63.1%）、次いで「5年以上10年未満」の者が476人（22.1%）となっている。

表5 問5 初めて路上（野宿）生活をしたのは、どのくらい前ですか。

	人	%	有効%
5年未満	1,356	62.7	63.1
5年～10年未満	476	22.0	22.1
10年～15年未満	178	8.2	8.3
15年～20年未満	51	2.4	2.4
20年以上	89	4.1	4.1
有効回答数	2,150	99.4	100.0
無回答	13	0.6	
合計	2,163	100.0	

このうち今回の路上（野宿）生活の期間については、表6のように、「1年～3年未満」が552人（25.6%）と一番多くなっている。また、3年未満の者は1,213人（56.4%）と全体の5割以上を占めている。

表6 問6 今回の路上（野宿）生活をするようになって（または路上（野宿）生活の方が多くなってから）どの位たちますか。（昔のことは除く）

	人	%	有効%
1ヶ月未満	94	4.3	4.4
1ヶ月～3ヶ月未満	120	5.5	5.6
3ヶ月～6ヶ月未満	180	8.3	8.4
6ヶ月～1年未満	267	12.3	12.4
1年～3年未満	552	25.5	25.6
3年～5年未満	424	19.6	19.7
5年～10年未満	373	17.2	17.3
10年以上	144	6.7	6.7
有効回答数	2,154	99.6	100.0
無回答	9	0.4	
合計	2,163	100.0	

4 居住の移動

居住場所については、表7でみるように、「ずっと路上(野宿)生活をしていた」者が1,387人(64.8%)と最も多く、次に「時々、ドヤ、飯場、ホテル等にも泊まっていた者が463人(21.6%)となっている。

表7 問7 その間、ずっと路上(野宿)生活が続いていましたか。または、どこか行き来していましたが、1つ選んでください。

	人数	%	有効%
ずっと路上(野宿)生活をしていた	1,387	64.1	64.8
時々、ドヤ、飯場、ホテル等にも泊まっていた	463	21.4	21.6
病院や施設に一時的に入っていたことがある	193	8.9	9.0
その他	98	4.5	4.6
有効回答数	2,141	99.0	100.0
無回答	22	1.0	
合計	2,163	100.0	

5 仕事と収入の状況

現在の仕事の有無と種類について見たのが、表8-1である。「している」と回答した者が1,400人(64.7%)、「していない」と回答した者が763人(35.3%)となっており、6割以上の者が何らかの仕事をしている。

仕事をしている者の種類は、「廃品回収」が1,011人(73.3%)と最も多く、「建設日雇」234人(17.0%)、「運輸日雇」30人(2.2%)となっている。

表8-1 問8 現在収入のある仕事をしていますか。

	人数	%	有効%
している	1,400	64.7	64.7
していない	763	35.3	35.3
有効回答数	2,163	100.0	100.0
無回答	0	100.0	
合計	2,163	100.0	

表8-2 問8 現在収入のある仕事をしていますか。(「している」と回答した者の内訳)

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
建設日雇	234	15.7	17.0
廃品回収	1,011	67.9	73.3
運輸日雇	30	2.0	2.2
その他雑業	23	1.5	1.7
その他	191	12.8	13.8
有効回答数	1,489	100.0	107.9
有効回答者数	1380	98.6	
無回答	20	1.4	
合計	2,163	100.0	

表9は、現在の収入月額(ここ3ヶ月くらいの平均)について見たものである。「1~3万円未満」が481人(35.2%)と最も多く、次いで「3~5万円未満」が258人(18.9%)となっている。なお、3万円未満の者は824人(60.2%)と6割を占めている。

表9 問9 収入は月額どれくらいありますか。
(ここ3ヶ月くらいの平均)

	人数	%	有効%
1000円未満	28	1.3	2.0
1000~5000円未満	129	6.0	9.4
5000~1万円未満	186	8.6	13.6
1~3万円未満	481	22.2	35.2
3~5万円未満	258	11.9	18.9
5~10万円未満	185	8.6	13.5
10~15万円未満	38	1.8	2.8
15~20万円未満	17	0.8	1.2
20万円以上	18	0.8	1.3
その他	27	1.2	2.0
有効回答数	1,367	63.2	100.0
無回答	29	1.3	
非該当	767	35.5	
合計	2,163	100.0	

一方、この3ヶ月の仕事以外の収入については、「ある」と回答した者が、表10で見ると、286人(13.4%)となっており、少ない割合となっている。

また、その収入月額については、表11で見ると「1~3万円未満」が51人(22.4%)と最も多くなっている。

表10 問10 ここ3ヶ月で、仕事以外の収入がありますか。

	人数	%	有効%
ある	286	13.2	13.4
ない	1,843	85.2	86.6
有効回答数	2,129	98.4	100.0
無回答	34	1.6	
合計	2,163	100.0	

表11 問11 その収入はここ3ヶ月平均してひと月いくらぐらいでしたか。

	人数	%	有効%
1000円未満	20	0.9	8.8
1000~5000円未満	39	1.8	17.1
5000~1万円未満	36	1.7	15.8
1~3万円未満	51	2.4	22.4
3~5万円未満	23	1.1	10.1
5~10万円未満	33	1.5	14.5
10~15万円未満	17	0.8	7.5
15~20万円未満	6	0.3	2.6
20万円以上	3	0.1	1.3
有効回答数	228	10.5	100.0
無回答	58	2.7	
非該当	1,877	86.8	
合計	2,163	100.0	

6 同居人の状況

同居人に関しては、「一人」が1,672人(77.3%)と8割を占めている。次に「友人・知り合い」と生活している者は363人(16.8%)となっており、共同生活を行っている者は少ない結果となっている。また、「配偶者(内縁含む)」、「子ども」も少数ながら存在した。表12参照

表12 問12 同じテントで同居したり一緒に生活・移動をしている人はいますか。

	件数	%	有効%
一人で	1,672	77.3	77.3
友人・知り合いと	363	16.8	16.8
配偶者(内縁を含む)と	106	4.9	4.9
子どもと	3	0.1	0.1
その他の親族と	5	0.2	0.2
その他	13	0.6	0.6
有効回答数	2,162	100.0	100.0
無回答	1	0.0	
合計	2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

7 困ること・辛いこと

路上(野宿)生活における「困ること・辛いこと」については、表13となっている。食べ物に関するものが838人(40.1%)、入浴、洗濯に関するものが811人(38.8%)となっている。

表13 問13 路上(野宿)生活で、とても困ったり、辛かったりするのはどのようなことですか。あてはまるものをいくつも選んでください。

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
食べ物が十分がないので辛い	838	22.8	40.1
寝る場所を探すのにとても苦労している	320	8.7	15.3
寒さをしのげずに辛い	728	19.8	34.8
入浴、洗濯などができなくて、清潔に保つことができず困る	811	22.1	38.8
その他	973	26.5	46.6
有効回答数	3,670	100.0	175.7
有効回答者数	2,089	96.6	
無回答	74	3.4	
合計	2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

第3章 路上（野宿）生活までのいきさつ

1 職業と従業上の地位

路上（野宿）生活直前に就いていた仕事について、職業、従業上の地位についてみたものは、表14のとおりである。

まず、職業については、「建設作業従事者」が733人（34.9%）、「建設技能従事者」が426人（20.3%）と建設関係が約5割となっている。続いて、「生産工程・製造作業」が221人（10.5%）となっている。次に「サービス従事者」が187人（8.9%）、「販売従事者」が90人（4.3%）となっている。

表14 問14 路上（野宿）生活をする前にやっていた仕事は何ですか。

	人数	%	有効%
専門・技術的従事者	21	1.0	1.0
管理的職業従事者	18	0.8	0.9
事務従事者	24	1.1	1.1
販売従事者	90	4.2	4.3
サービス従事者	187	8.6	8.9
保安職業従事者	56	2.6	2.7
農林漁業従事者	42	0.6	0.6
運輸、通信従事者	78	3.6	3.7
採掘作業	0	0.0	0.0
生産工程・製造作業	221	10.2	10.5
印刷・製本作業	19	0.9	0.9
建設技能従事者（大工、配管工など）	426	19.7	20.3
建設作業従事者（土木工、現場片づけなど）	733	33.9	34.9
労務・運搬作業従事者	65	3.0	3.1
清掃作業・廃品回収	61	2.8	2.9
その他	91	4.2	4.3
有効回答数	2,102	97.2	100.0
職業なし	43	2.0	
無回答	18	0.8	
合計	2,163	100.0	

また、直前職時の従業上の地位をみたものが表 15 である。最も多いのが「常勤職員・従事者（正社員）」で 834 人（39.8%）となっている。次に「日雇」で 757 人（36.1%）、「臨時・パート・アルバイト」で 291 人（13.9%）となっている。「日雇」、「臨時・パート・アルバイト」を合わせると 1,048 人で 5 割を占めている。

表 15 問 15 そのときの立場はなんでしたか。

	人数	%	有効%
経営者・会社役員	46	2.1	2.2
自営・家族従事者	83	3.8	4.0
常勤職員・従事者（正社員）	834	38.6	39.8
臨時・パート・アルバイト	291	13.5	13.9
日雇	757	35.0	36.1
その他	87	4.0	4.1
有効回答数	2,098	97.0	100.0
無回答	19	0.9	
非該当	46	2.1	
合計	2,163	100.0	

次に、最も長く就いていた仕事について、職業、従業上の地位についてみたのが、表 16 である。

まず、職業については、「建設作業従事者」が 473 人（22.1%）、「建設技能従事者」が 441 人（20.6%）と建設関係が約 4 割となっている。直前職と同様、一番大きい比率であるが、その割合は若干下がっている。続いて「生産工程・製造作業者」が 368 人（17.2%）、「サービス従事者」が 252 人（11.7%）、「販売従事者」が 124 人（5.8%）となっている。

表 16 問 16 これまで一番長くやっていた仕事は何ですか。（主な仕事）

	人数	%	有効%
専門・技術的従事者	30	1.4	1.4
管理的職業従事者	28	1.3	1.3
事務従事者	52	2.4	2.4
販売従事者	124	5.7	5.8
サービス従事者	252	11.7	11.7
保安職業従事者	30	1.4	1.4
農林漁業従事者	30	1.4	1.4
運輸、通信従事者	108	5.0	5.0
採掘作業	3	0.1	0.1
生産工程・製造作業	368	17.0	17.2

印刷・製本作業	27	1.2	1.3
建設技能従事者（大工、配管工など）	441	20.4	20.6
建設作業従事者（土木工、現場片づけなど）	473	21.9	22.1
労務・運搬作業従事者	58	2.7	2.7
清掃作業・廃品回収	31	1.4	1.4
その他	90	4.2	4.2
有効回答数	2,145	99.2	100.0
職業なし	9	0.4	
無回答	9	0.4	
合計	2,163	100.0	

また、最長職時の従業上の地位を見たものが表 17 である。もっとも多いのが「常勤職員・従事者（正社員）」で 1,208 人（56.7%）、次に「日雇」497 人（23.3%）、「臨時・パート・アルバイト」で 166 人（7.8%）となっている。「日雇」、「臨時・パート・アルバイト」を合わせると 663 人で 3 割となるが、直前職時の 5 割よりも低い数値となっている。

表 17 問 17 その仕事をしているときは、どんな立場で働いていましたか。

	人数	%	有効%
経営者・会社役員	66	3.1	3.1
自営・家族従事者	132	6.1	6.2
常勤職員・従事者（正社員）	1,208	55.8	56.7
臨時・パート・アルバイト	166	7.7	7.8
日雇	497	23.0	23.3
その他	63	2.9	3.0
有効回答数	2,132	98.5	100.0
無回答	18	0.8	
非該当	13	0.6	
合計	2,163	100.0	100.0

2 路上（野宿）生活になった理由

次に、路上（野宿）生活になった主な理由をまとめたのが表 18 である。「仕事が減った」が 768 人（35.6%）と最も多く、次いで「倒産・失業」が 708 人（32.9%）となっており、仕事関係が上位を占めている。

表 18 問 18 今回の路上（野宿）生活をするようになった主な理由は何ですか。
あてはまるものすべてを選んでください。

	(複数回答)	件数	回答%	ケース%
倒産・失業		708	19.2	32.9
仕事が減った		768	20.8	35.6
病気・けが・高齢で仕事ができなくなった		406	11.0	18.8
収入が減った		354	9.6	16.4
ローンが払えなくなった		49	1.3	2.3
家賃が払えなくなった		327	8.9	15.2
ホテル代・ドヤ代が払えなくなった		177	4.8	8.2
建て替え等による住宅の追い立てにあった		22	0.6	1.0
借金取立により家を出た		92	2.5	4.3
差し押さえによって立ち退きさせられた		12	0.3	0.6
病院や施設などから出た後行き先がなくなった		41	1.1	1.9
家庭内のいざこざ		160	4.3	7.4
飲酒、ギャンブル		126	3.4	5.8
その他		416	11.3	19.3
理由無し		32	0.9	1.5
有効回答数		3,690	100.0	171.2
有効回答者数		2,155	99.6	
無回答		8	0.4	
合計		2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

3 居住形態と住居負担

路上（野宿）生活をする直前の居住形態については、表 19 で表している。最も多いのが「民間賃貸住宅（アパート・マンション）」であり 805 人（37.5%）となっている。次に「飯場・作業者宿舎」が 299 人（13.9%）、「勤め先や社宅や寮」297 人（13.8%）、「簡易宿泊所（ドヤ）」が 254 人（11.8%）となっている。

表 19 問 19 今回の路上（野宿）生活をする前に、住んでいたのはどこですか。一つ選んでください。（路上（野宿）生活中に一時的に泊まったところは除く。路上（野宿）生活が多くなる前の住居）

	人数	%	有効%
持ち家（一戸建て、マンションなど）	173	8.0	8.1
民間賃貸住宅（アパート・マンション）	805	37.2	37.5
公共賃貸住宅（公団賃貸住宅・公営住宅等）	69	3.2	3.2
勤め先の社宅や寮	297	13.7	13.8
親族・知人宅	66	3.1	3.1
住み込み先	76	3.5	3.5
飯場・作業者宿舎（飯場など現場に仮設された宿舎）	299	13.8	13.9
簡易宿泊所（ドヤ）	254	11.7	11.8
ビジネス・カプセルホテル・サウナ・映画館	41	1.9	1.9
病院	15	0.7	0.7
更正施設等の福祉施設	13	0.6	0.6
その他	41	1.9	1.9
有効回答数	2,149	99.4	100.0
無回答	14	0.6	
合計	2,163	100.0	

その時の家賃や住宅ローンなどの住居負担を表しているのが表 20 である。「3～5 万円未満」が 597 人（28.4%）と最も多く、次に「3 万円以内」が 536 人（25.5%）となっている。一方、「住居費の負担はなかった」が 501 人（23.8%）となっている。

表 20 問 20 その時の家賃や住宅ローンなどの住居負担は月いくらですか。

	人数	%	有効%
3 万円未満	536	24.8	25.5
3～5 万円未満	597	27.6	28.4
5～10 万円未満	416	19.2	19.8
10 万円以上	52	2.4	2.5
住宅費の負担はなかった	501	23.2	23.8
有効回答数	2,102	97.2	100.0
無回答	61	2.8	
合計	2,163	100.0	

また、その時に住んでいた地域を現在路上生活している都道府県内・外で整理したものが表 21 である。「現在路上（野宿）生活している都道府県内」が 1,446 人（68.5%）と約 7 割になっている

表 21 問 21 その時に住んでいた地域はどちらですか。

	人数	%	有効%
現在路上（野宿）生活している都道府県内	1,446	66.9	68.5
路上（野宿）生活している都道府県外	665	30.7	31.5
有効回答数	2,111	97.6	100.0
無回答	52	2.4	
合計	2,163	100.0	

4 特定地域・場所での就労・求職状況

下記の特定地域・場所での就労・求職状況を見たものが表 22 である。782 人（36.2%）が就労又は求職を行っている。

表 22 問 22 これまで東京・山谷、横浜・寿町、大阪・釜ヶ崎、名古屋・笹島などで、仕事をしたり仕事を探したりしたことがありますか。当てはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	件数	回答%	ケース%
山谷（東京）	245	22.4	31.3
寿町	158	14.4	20.2
釜ヶ崎	386	35.3	49.4
笹島	153	14.0	19.6
その他の寄せ場	152	13.9	19.4
有効回答数	1,094	100.0	139.9
有効回答者数	782	36.2	
なし	1,376	63.6	
無回答	5	0.2	
合計	2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

第4章 健康状態と福祉制度

1 健康状態

表 23 は現在の身体の具合を尋ねた結果である。具合の悪いところがあると回答した者は 1,025 人 (47.4%)、「いいえ」と回答した者は 1,115 人 (51.5%) となっている。回答者の半数近くがどこか身体の具合が悪いと感じている。

また、「ある」と回答した者のうち、「通院」、「売薬」などで対処している者が 324 人 (31.6%) と約 3 割程度にとどまっており、何もしていない者が 701 人 (68.4%) で約 7 割近くに達している。

表 23 問 23 現在、どこか身体の具合の悪いところがありますか。

	人数	%	有効%
はい			
通院	202	9.3	19.7
売薬	122	5.6	11.9
何もしていない	701	32.4	68.4
有効回答者数	1,025	47.4	100.0
はい(無回答)	22	1.0	
いいえ	1,115	51.5	
無回答	1	0.0	
合計	2,163	100.0	

次に、病気や障害などについて、具体的な内容を複数回答で尋ねたものが表 24 である。多い順に「高血圧」256 人(12.0%)、「胃・十二指腸潰瘍」153 人(7.2%)、「ヘルニア」138 人(6.5%)となっている。一方、「病気はない」と回答した者は 865 人(40.5%)と 4 割、「病気かどうか分からない」と回答した者は 160 人(7.5%)となっている。

表 24 問 24 現在、どのような持病や障害がありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
高血圧	256	9.7	12.0
胃・十二指腸潰瘍	153	5.8	7.2
糖尿病	126	4.8	5.9
肝炎	74	2.8	3.5
ヘルニア	138	5.2	6.5
皮膚の病気	41	1.6	1.9
アルコール依存症	51	1.9	2.4
結核	18	0.7	0.8
身体障害	64	2.4	3.0
その他	699	26.4	32.7
病気はない	865	32.7	40.5
病気かどうか分からない	160	6.0	7.5
有効回答数	2,645	100.0	123.9
有効回答者数	2,135	98.7	
無回答	28	1.3	
合計	2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

また、具体的な自覚症状についてまとめたものが表 25 である。多い順に見ていくと、「なし」676 人（31.4%）で最も多いが、次に「腰痛」508 人（23.6%）が多い。

表 25 問 25 路上（野宿）生活している間（路上（野宿）生活の長い方はここ 1 年以内）で次のような症状がありましたかあてはまるものをいくつでも選んでください。

（複数回答）	件数	回答%	ケース%
めまい	329	7.3	15.3
しびれ・麻痺	338	7.5	15.7
咳がつづく	242	5.3	11.2
微熱がつづく	85	1.9	3.9
ひどい下痢が続いた・激しい腹痛	167	3.7	7.8
皮膚のかゆみや発疹	170	3.8	7.9
目やにが出る・目のかすむ	236	5.2	11.0
食欲不振	80	1.8	3.7
急激にやせた	112	2.5	5.2
ひどくだるい	188	4.2	8.7
耳鳴りがひどい	156	3.4	7.2
吐き気・嘔吐・胃の痛み	183	4.0	8.5
むくみ	104	2.3	4.8
頭痛	183	4.0	8.5
腰痛	508	11.2	23.6
よく眠れない	318	7.0	14.8
その他	452	10.0	21.0
なし	676	14.9	31.4
有効回答数	4,527	100.0	210.3
有効回答者数	2,153	99.5	
無回答	10	0.5	
合計	2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

次に、障害者手帳や療育手帳などの各種福祉手帳の所持状況を尋ねた結果が表 26 である。「今持っている」が 43 人（2.0%）、「以前持っていたがなくした」19 人（0.9%）、「障害はあるが持っていない」135 人（6.3%）、「障害はないので持っていない」1,956 人（90.8%）となっている。

表 26 問 26 現在何らかの障害を抱えていますか。また障害を抱えている場合、障害者手帳や療育手帳（愛の手帳）などを持っていますか。

	人数	%	有効%
今持っている	43	2.0	2.0
以前持っていたがなくした	19	0.9	0.9
障害はあるがもっていない	135	6.2	6.3
障害はないので持っていない	1,956	90.4	90.8
有効回答数	2,153	99.5	100.0
無回答	10	0.5	
合計	2,163	100.0	

2 福祉制度の利用状況

路上（野宿）生活前又は路上（野宿）生活中に福祉事務所へ相談に行ったことの有無を尋ねた結果が表 27 である。「ある」と回答した者が 714 人（33.1%）、「ない」と回答した者が 1,466 人（66.9%）となっている。

表 27 問 27 路上（野宿）生活以前又は路上（野宿）生活中に福祉事務所へ相談に行ったことがありますか。

	人数	%	有効%
ある	714	33.0	33.1
ない	1,446	66.9	66.9
有効回答数	2,160	99.9	100.0
無回答	3	0.1	
合計	2,163	100.0	

「ある」と回答した者の相談結果については表 27-2 でまとめている。「相談のみで終わった」が 220 人（32.8%）、「病院を紹介された、病院で受診した」が 157 人（23.1%）となっている。

表 27 - 2 問 27 路上（野宿）生活以前又は路上（野宿）生活中に福祉事務所へ相談に行ったことがありますか。（「ある」と回答した者の相談結果）

項目	人数	%	有効%
病院を紹介された、病院で受診した	157	22.0	23.1
病院へ入院	55	7.7	8.1
施設入所	76	10.6	11.2
食事、交通費等もらった	87	12.2	12.8
生活保護を受けた（主に居宅保護）	47	6.6	6.9
相談のみで終わった	220	30.8	32.3
その他	39	5.5	5.7
有効回答数	681	95.4	100.0
無回答	33	4.6	
合計	714	100.0	

また、「ない」と回答した者のうち、今後、相談に行く意志はあるかを尋ねたものが表 27-3 である。回答者のうち、今後、相談に行く意志のある者は、237 人（19.6%）となっている。

表 27 - 3 問 27 路上（野宿）生活以前又は路上（野宿）生活中に福祉事務所へ相談に行ったことがありますか。（「ない」と回答した者の、今後、相談に行く意志の有無）

	人数	%	有効%
ある	236	16.3	19.5
なし	788	54.5	65.3
今はないが、状況によって行く場合もある	183	12.7	15.2
有効回答数	1,207	83.5	100.0
無回答	239	16.5	
合計	1,446	100.0	

次に、緊急的な一時宿泊施設であるシェルターの利用希望について尋ねたものが表 28 である。「思う」と回答した者が 831 人 (38.7%)、「思わない」が 1,315 人 (61.3%) となっている。

また、「思わない」と回答した者の理由を類型化して、まとめたものが表 28-2 である。この中で「他人に干渉されたくないから」と回答した者が 427 人 (34.6%) と最も多い。

表 28 問 28 緊急的な一時宿泊所としてシェルターがありますが、今後利用したいと思えますか。

	人数	%	有効%
思う	831	38.4	38.7
思わない	1,315	60.8	61.3
有効回答数	2,146	99.2	100.0
無回答	17	0.8	
合計	2,163	100.0	

表 28-2 問 28 緊急的な一時宿泊所としてシェルターがありますが、今後利用したいと思えますか。(「思わない」理由の内訳)

	人数	%	有効%
今の寝場所・私物が失われるから	17	1.3	1.4
今の生活形態が失われるから	52	4.0	4.2
プライバシーが確保されていないから	33	2.5	2.7
他人に干渉されたくないから	427	32.5	34.6
寝場所はあるから、他からの援助は必要ないから	153	11.6	12.4
就労できる見込みがないから	20	1.5	1.6
期間が短いから	73	5.6	5.9
ない・わからない	94	7.1	7.6
その他	364	27.7	29.5
有効回答数	1,233	93.8	100.0
無回答	82	6.2	
合計	1,315	100.0	

自立支援センターの利用希望を尋ねたものが表 29 である。「思う」と回答した者が 835 人 (38.9%)、「思わない」が 1,310 人 (61.1%) となっている。

また、「思わない」と回答した者の理由を類型化して、まとめたものが表 29-2 である。「他人に干渉されたくないから」と回答した者が 294 人 (24.1%) と最も多い

表 29 問 29 一定期間入所して、食事、健康管理、生活相談や職業相談を受け、就労による自立をするための施設（自立支援センター）がありますが、今後利用したいと思いますか。

	人数	%	有効%
思う	835	38.6	38.9
思わない	1,310	60.6	61.1
有効回答数	2,145	99.2	100.0
無回答	18	0.8	
合計	2,163	100.0	

表 29-2 問 29 「思わない」理由

	人数	%	有効%
今の寝場所・私物が失われるから	4	0.3	0.3
今の生活形態が失われるから	55	4.2	4.5
プライバシーが確保されていないから	16	1.2	1.3
他人に干渉されたくないから	294	22.4	24.1
他からの援助は必要ないから	208	15.9	17.1
就労できる見込みがないから	247	18.9	20.3
期間が短いから	37	2.8	3.0
ない・わからない	94	7.2	7.7
その他	265	20.2	21.7
有効回答数	1,220	93.1	100.0
無回答	90	6.9	
合計	1,315	100.0	

次に、生活保護制度の利用状況を尋ねたものが表 30 である。「ある」と回答した者が 528 人（24.5%）と、過去に生活保護制度を利用していたが、現在、路上生活をしている者がいる。また、「相談に行ったが利用したことがない」が 95 人（4.4%）となっている。

表 30 問 30 これまで生活保護制度を利用したことがありますか。

	人数	%	有効%
ある	528	24.4	24.5
相談には行ったが利用したことがない	95	4.4	4.4
ない	1,535	71.0	71.1
有効回答数	2,158	99.8	100.0
無回答	5	0.2	
合計	2,163	100.0	

また、前設問で生活保護制度を利用したことがあると回答した者の利用方法を尋ねたものが表 31 である。「病院に入院」が 287 人（54.6%）と最も多く、全体の 5 割近くを占めている。

表 31 問 31 問 30 で「ある」と答えた方の利用の方法は次のどれでしたか。あてはまるものすべてを選んでください。

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
病院に入院して生活保護を受けた	287	47.8	54.6
施設に入って生活保護を受けた	111	18.5	21.1
アパートやドヤ等で生活保護を受けた	88	14.7	16.7
その他	114	19.0	21.7
有効回答数	600	100.0	114.1
有効回答者数	526	24.3	
無回答	2	0.1	
非該当	1,635	75.6	
合計	2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

次に、これまでに何らかの支援を受けたことの有無については表 32 でまとめている。「ある」が 1,577 人 (72.9%) 「ない」が 583 人 (27.0%) となっている。

表 32 路上(野宿)生活をしてからこれまでに、何らかの支援を受けたことがありますか。

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
ある			
炊き出し	988	30.1	62.7
衣類や毛布の配布	891	27.2	56.5
福祉や医療相談	326	9.9	20.7
カップ麺や乾パン、パン券などをもらった	697	21.3	44.2
臨時施設(宿泊券をもらった)	142	4.3	9.0
その他	233	7.1	14.8
有効回答数	3,277	100.0	207.8
有効回答者数	1,576	72.9	
ある(無回答)	1	0.0	
ない	583	27.0	
無回答	3	0.1	
合計	2,163	100.0	

また、その支援について何らかの役に立ったかを尋ねたものが表 33 である。「役に立ったと思う」が 1,499 人 (92.8%) と全体の 9 割となっている。

表 33 問 33 その支援は何らかの役に立ったと思いますか

	人数	%	有効%
役に立ったと思う	1,499	67.0	92.8
役に立たなかったと思う	62	2.9	4.0
わからない	51	2.4	3.3
有効回答数	1,562	72.2	100.0
無回答	7	0.3	
非該当	594	27.5	
合計	2,163	100.0	

1 今後の希望

今後の望む生活についてみたのが表 34 である。「きちんと就職して働きたい」が 1,021 人 (49.7%) で最も多く、約 5 割を占めている。

次に「今のままでいい路上(野宿)生活」が 270 人 (13.1%)、「行政からの何らかの支援を受けながら、軽い仕事をしたい」は 176 人 (8.6%)、「福祉を利用しての生活」155 人 (7.5%)、「アルミ缶回収など都市雑業的な仕事」138 人 (6.7%) となっている。

表 34 問 34 今後どのような生活を望んでいますか。

	人数	%	有効%
きちんと就職して働きたい	1,021	47.2	49.7
アルミ缶回収など都市雑業的な仕事	138	6.4	6.7
行政から支援を受けながらの軽い仕事	176	8.1	8.6
就職できないので福祉を利用して生活したい	155	7.2	7.5
入院したい	15	0.7	0.7
今のままでいい(路上(野宿)生活)	270	12.5	13.1
わからない	97	4.5	4.7
その他	184	8.5	8.9
有効回答数	2,056	95.1	100.0
無回答	107	4.9	
合計	1,315	100.0	

2 求職活動

求職活動について、表 35 で見るように、「している」と回答した者は、688 人 (32.0%) となっている。一方、「していないし、今後も予定はない」と回答した者は 904 人 (42.0%) となっている。また、「していないが、今後する予定である」は 561 人 (26.1%) となっている。

表 35 問 35 現在、就職するための活動をしていますか。

	人数	%	有効%
求職活動をしている	688	31.8	32.0
求職活動をしていないし、今後も求職活動する予定はない	904	41.8	42.0
今は求職活動をしていないが、今後求職活動をする予定である	561	25.9	26.1
有効回答数	2,153	99.5	100.0
無回答	10	0.532	
合計	1,315	100.04	

なぜ仕事を探していないのかについて見たものが表 36 である。「疾病、障害、病弱、高齢で働けないから」が 462 人 34.2 と最も多く、次いで「自分の希望する職業をさがしてもないと思うから 330 人(24.4%)となっている。

表 36 問 36 なぜ仕事を探していないのですか。

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
今の仕事で満足しているから	172	11.6	12.7
疾病、障害、病弱、高齢で働けないから	462	31.0	34.2
自分の希望する職業を探してもないと思うから	330	22.2	24.4
保証人や住民票がないと難しいと思うから	196	13.2	14.5
その他	329	22.1	24.4
有効回答数	1,489	100.0	110.3
有効回答者数	1,350	62.4	
無回答	52	2.4	
非該当	761	35.2	
合計	2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

それでは、求職活動をしている者のうち、「どのようにして仕事を探しているのか」について見たのが表 37 である。「知人・友人などからの紹介」が 321 人(40.2%)と最も多く、次いで「求人雑誌・新聞」が 300 人(37.6%)、「一般の職安」243 人(30.5%)となっている。

表 37 問 37 仕事はどのように探していますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
一般の職安	243	20.4	30.5
労働安定所	115	9.7	14.4
求人雑誌・新聞	300	25.2	37.6
知人・友人などからの情報	321	27.0	40.2
直接雇用主に応募	94	7.9	11.8
その他	116	9.8	14.5
有効回答数	1,189	100.0	149.0
有効回答者数	798	36.9	
無回答	66	3.1	
非該当	1,299	60.1	
合計	2,163	100.0	

どのような職業を希望しているかについては、表 38 で示している。「技能工・採掘・製造・建設作業員・労務作業員」が 455 人（49.6%）で最も多く、全体の 5 割近くを占めている。また「サービス業従事者」が 128 人（14.0%）となっている。

表 38 問 38 どのような職業を希望しますか。

	件数	回答%	有効%
技能工・採掘・製造・建設作業員及び労務作業員	455	21.0	49.6
運輸・通信従事者	39	1.8	4.3
農林漁業従事者	5	0.2	0.5
保安職業従事者	33	1.5	3.6
専門的・技術的従事者	17	0.8	1.9
管理的職業従事者	5	0.2	0.5
事務従事者	8	0.4	0.9
販売従事者	16	0.7	1.7
サービス業従事者	128	5.9	14.0
廃品回収従事者	12	0.6	1.3
その他	199	9.2	21.7
有効回答数	917	42.4	100.0
無回答	42	1.9	
非該当	1,204	55.7	
合計	2,163	100.0	

次に、就職するために望む支援について見たものが表 39 である。「仕事先の開拓」802 人（39.5%）、「その他」647 人（31.9%）、「身元保証・住民票の設定」645 人（31.8%）「就職の相談・求人情報」443 人（21.8%）となっている。一方「職業訓練・職業講習」は 245 人（12.1%）と相対的に低くなっている。

表 39 問 39 就職するためにあなたが望む支援は何ですか。あてはまるものをいくつも選んでください。

（複数回答）	件数	回答%	ケース%
もっと身近に就職の相談や求人情報をみられるようにしてほしい	443	13.9	21.8
職業訓練、職業講習を受けられるようにしてほしい	245	7.7	12.1
自分たちにあった仕事先を開拓して欲しい	802	25.2	39.5
事業主のホームレスに対する理解を進めて欲しい	397	12.5	19.6
身元保証や住民票の設定を援助して欲しい	645	20.3	31.8
その他	647	20.4	31.9
有効回答数	3,179	100.0	156.6
有効回答者数	2,030	93.9	
無回答	133	6.1	
非該当	0	0.0	
合計	2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

表 40 は、取得した、若しくは過去に持っていた技能、免許・資格について見たものである。取得しているものの中では、「自動車運転免許」が 350 人（37.3%）で最も多く、次に「建設関係免許」が 311 人（33.1%）となっている。

取得したものの、期限切れになってしまったものの中では、「自動車運転免許」が 545 人（81.3%）と大きな割合を占めている。

表 40-1 問 40 今までにどのような技能、免許・資格などを取得されていますか。具体的に教えてください。

（複数回答）	取得	回答%	ケース%
自動車運転免許	350	29.9	37.3
建設関係免許	311	26.6	33.1
工場関係免許	95	8.1	10.1
調理免許	85	7.3	9.1
理美容免許	9	0.8	1.0
その他	321	27.4	34.2
有効回答数	1,171	100.0	124.7

有効回答者数	939	43.4
期限切れのみ者数	519	24.0
無回答	705	32.6
合計	2,163	100.0

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

表 40-2 また、過去持っていたが、期限が切れてしまっているものには をつけてください。

(複数回答)	期限切れ	回答%	ケース%
自動車運転免許	545	68.0	81.3
建設関係免許	138	17.2	20.6
工場関係免許	42	5.2	6.3
調理免許	22	2.7	3.3
理美容免許	4	0.5	0.6
その他	51	6.4	7.6
有効回答数	802	100.0	119.7
有効回答者数	670	31.0	
取得のみ者数	788	36.4	
無回答	705	32.6	
合計	2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

第6章 生活歴

1 出身地

出身地について、現在路上（野宿）生活をしている都道府県内・外別に集計したものが、表41である。

ここでは、調査値別に出身地の上位3までの都道府県を示している。

表41 問41 出身地はどこですか。

調査地	全有効回答	出身地	人数
札幌市	20	北海道	19
		福島	1
仙台市	28	宮城	19
		東京	3
		青森	2
さいたま市	40	埼玉	8
		新潟	4
		青森	4
千葉市	20	千葉	5
		北海道	2
		東京	2
市川市	41	千葉	11
		東京	8
		茨城	5
船橋市	20	東京	5
		千葉	5
		北海道	2
東京23区	398	東京	98
		北海道	35
		千葉	18
川崎市	166	神奈川	24
		東京	19
		青森	14
横浜市	91	神奈川	23
		福島	9
		北海道	8
厚木市	19	神奈川	5
		秋田	2
		茨城	2
浜松市	39	静岡	23
		北海道	2

		東京	2
名古屋市	199	愛知	41
		岐阜	14
		北海道	11
豊橋市	45	愛知	15
		東京	3
		福岡	3
京都市	88	京都	30
		北海道	8
		愛媛	4
大阪市	506	大阪	111
		兵庫	32
		福岡	31
堺市	79	大阪	24
		和歌山	6
		福岡	6
八尾市	31	大阪	11
		奈良	2
		長崎	2
神戸市	59	兵庫	16
		山口	4
		大阪	4
尼崎市	62	兵庫	12
		鹿児島	7
		長崎	5
広島市	39	広島	18
		山口	4
		大阪	3
松山市	20	愛媛	15
		熊本	1
		高知	1
福岡市	60	福岡	21
		長崎	11
		佐賀	5
北九州市	40	福岡	22
		山口	6
		長崎	2
有効回答数	2,110		
無回答	53		
合計	2,163		

2 家族の状況

表 42 は結婚歴について質問したものである。「した」と回答した者は 1,146 (53.4%)、「していない」は 1,002 人 (46.6%) である。

表 42 問 42 結婚(内縁を含む)はしましたか。

	人数	%	有効%
した	1,146	53.0	53.4
していない	1,002	46.3	46.6
有効回答数	2,148	99.3	100.0
無回答	15	0.7	
合計	2,163	100.0	

また、この 1 年間で家族・親族との連絡について、表 43 をみると、「ない」と回答した者が 1,664 人 (77.1%)、「ある」が 493 人 (22.9%) である。

表 43 問 43 この 1 年間で家族・親族と連絡がありますか。

	人数	%	有効%
ある	493	22.8	22.9
ない	1,664	76.9	77.1
有効回答数	2,157	99.7	100.0
無回答	6	0.3	
合計	2,163	100.0	

3 住民票

住民票の所在(表 44)については、「ある」と回答した者は、1,361 人 (63.2%)、「ない」と回答した者は、380 人 (17.6%)、「わからない」と回答した者は 414 人 (19.2%) となっている。

表 43 問 43 この 1 年間で家族・親族と連絡がありますか。

	人数	%	有効%
ある	1,361	62.9	63.2
ない	380	17.6	17.6
わからない	414	19.1	19.2
有効回答数	2,155	99.6	100.0
無回答	8	0.4	
合計	2,163	100.0	

第7章 要望・相談

1 法務省の人権擁護機関に対して相談したい事項

今回の調査では、法務省の人権擁護機関に対し、人権問題について相談したい事項を尋ねた。その結果についてみたものが表45であり、全体の約4分の1に当たる人から、「通行人からの暴力」(189件)「近隣住民等からの嫌がらせ」(158件)等の人権問題について、相談したいとの回答があった。

表45 問45 法務省の人権擁護機関(法務局・人権擁護委員)においては、人権問題についての相談に応じていますが、どのような事項について相談したいですか。

事項	(複数回答)	期限切れ	回答%	ケース%
近隣住民からの嫌がらせ		158	7.0	7.4
通行人からの暴力		189	8.4	8.9
債権者等からの嫌がらせ		26	1.2	1.2
家族の問題		75	3.3	3.5
その他		163	7.3	7.6
特になし		1,636	72.8	76.6
有効回答数		2,247	100.0	105.2
有効回答者数		2,135	98.7	
無回答		28	1.3	
合計		2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

2 行政、ボランティア団体、民間団体への要望・意見

行政、ボランティア団体、民間団体への要望・意見について自由回答を尋ねたものが表46である。

この表から、行政に対しては、「仕事関連」の要望・意見が27.1%と相対的に高くなっており、一方、ボランティア団体に対しては、「なし」が60.3%と最も多いものの、「食事関連」が12.0%と、行政、民間団体と比べて比較的高くなっている。「民間団体」に対しては、「なし」が79.7%と圧倒的な割合を占めている。

表 46 問 46 行政、ボランティア団体、民間団体への要望・意見はありますか。

「行政」

要望事項	(複数回答)	件数	回答%	ケース%
仕事関連		523	23.8	27.1
住居関連		186	8.6	7.8
健康関連		73	3.3	3.8
食事関連		69	3.1	3.6
その他の生活関連		87	4.0	4.5
その他		672	30.5	34.8
なし		591	26.9	30.6
有効回答数		2,201	100.0	112.2
有効回答者数		1,931	89.3	
無回答		232	10.7	
合計		2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

「ボランティア団体」

要望事項	(複数回答)	件数	回答%	ケース%
仕事関連		17	1.1	1.2
住居関連		6	0.4	0.4
健康関連		12	0.8	0.8
食事関連		176	11.5	12.0
その他の生活関連		63	4.1	4.3
その他		377	24.6	25.7
なし		884	57.6	60.3
有効回答数		1,535	100.0	104.7
有効回答者数		1,465	67.7	
無回答		698	32.3	
合計		2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合

「民間団体」

要望事項	(複数回答)	件数	回答%	ケース%
仕事関連		32	2.4	2.5
住居関連		26	2.0	2.0
健康関連		12	0.9	0.9
食事関連		50	3.8	3.9
その他の生活関連		64	4.9	5.0
その他		83	6.3	6.4
なし		1,046	79.7	81.3
有効回答数		1,313	100.0	102.0
有効回答者数		1,287	59.5	
無回答		876	40.5	
合計		2,163	100.0	

* 回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合